



# 読者のたより

雪深い中で  
読む温かさ

沖田 玉映  
新潟県

私は今、雪深く、熊も出るような山奥に入り修行をしております。医者に行ったり用事があるときは、新潟市内に泊まりがけでいくようなところです。そのような地で拝見させていただいた、成寿第二十号…。善光寺老師さまのご活躍ぶりがわかり敬服するばかりです。スリランカの仏跡からは、はるか昔の人びとの願い求めた聖境のありさまが伝わってまいりました。また、

永平寺、総持寺参拝の旅では、みなさま本当に和やかに深い絆で結ばれていることを感じ、とても穏やかな幸せな気分となりました。このような気持ちになれるご本を拝読する機縁に恵まれたことをしみじみとありがたく思っております。

仏さまに感謝して  
生きるすばらしさ

伊藤 幹雄  
兵庫県

子どもたちがそれぞれ成長し、長男は来年大学を卒業予定で就職も決まり、次男は今年四国の大学に入学できました

た。これもすべて、仏さまの  
ご加護の賜です。私の社業も、  
研修センターが増築された  
り、工場の生産現場の拡張を  
予定していたり、順調に発展  
しています。これもまた、仏  
さまのおかげです。日々仏さ  
まに感謝して生きることのす  
ばらしさを実感しています。

「心もそろろう」を  
口ずさんで

東京都  
大金きよみ

私は小さい頃から、仏教少  
年少女会に毎週土曜日に行っ  
ては、和尚さまのお話を聞き、  
終わると、「月影の歌」など歌

ったり、おゆうぎをしながら  
楽しく家に帰ってまいりまし  
た。そのおかげで、八十三歳  
になった今も、毎日「ナムア  
ミダブツ」を唱えぬ日はあり  
ません。このごろは、それと  
同時に、『成寿』第二十号の一  
五四ページにあった、藤本幸  
邦さまの、「心もそろろう」とい  
う詩を口ずさむようになりま  
した。

『はきものをそろえると心  
もそろう

心がそろうとはきものもそ  
ろう

ぬぐとときにそろえておくと  
はくときに心が見だれない  
だれかがみだしておいたら

だまっつてそろえておいてあ  
げよう

そうすればきつと

世界中の人の心もそろうで  
しょう』

今日は病院で、私も人のほ  
きものをそろえてまいりまし  
た。なんだか嬉しい気持ちに  
なりました。

『成寿』は貴重な  
情報源

千葉県  
村田 一夫

「宗派の垣根を越え、グロ  
ーバルなものの方ができる  
修行を目指して、世界的な広  
い視野を持ち、国家を越えて

相互理解し合える僧を一人でも多く世にだそう」として始まった、海外留学僧派遣遣育英会も、すでに九回を数えるとのこと。黒田方丈さまの力強さ、信念に心打たれます。

『成寿』も第二十号に達し、ますますおもしろく内容深く、毎回楽しませていただいています。海外旅行に満足にいけない小生は、貴重な情報源として、有意義に拝読させていただきます。方丈さまのまごころに、合掌し、感謝申し上げます。

スリランカの写真、  
なつかしく

長野県  
小笠原隆元

私は二十年ほど前にスリランカに訪れたことがあります。ダンダーラの石窟内の壁画と仏像のすばらしさには圧倒され、あのとときの感動は忘れられません。このたび『成寿』でスリランカ各地の写真や報告書を見て、なつかしく嬉しい思いがいたしました。『成寿』は、いつも数冊まとめては製本して、私の枕元に置いてあります。本当にありがたいことです。

日常から離れて  
ホッとして

東京都  
栗本 将信

日々、会社という大きな組織の中にいて、疲れ切つてしまいそうになったとき、私はときたま、感動的な外の世界へ旅立ちたくあります。映画を見たりしてホッとするときもあります。数年前にはスリランカへ旅行しました。今回、『成寿』で、聖山シーギリアの乙女の壁画や、涅槃像の写真を見て、なつかしさを感じ、ホッとした気分が甦りました。

すばらしい出版活動に  
感激

千葉県  
椎名 宏雄

黒田武志住職の『明日を生きる』を読ませていただき、  
托鉢行脚時代のご辛苦にいた  
く打たれました。こうした、

一般僧侶にはなかなかマネの  
できない積極的な活動性が、  
黒田老師を形成する大きなエ  
レメントであることは疑いあ  
りません。

美しいグラビア、大きく見  
やすい活字、そして、ますま  
すコクのある記事の数々……こ  
れだけのすばらしい仏教誌

を、仏教界における絶大なる  
出版活動として誇りに思い、  
ますます発展していくことを  
心から念じております。

ただただ主人のおかげと  
感謝

神奈川県  
里 チエ

私どもは、終戦を迎えた翌  
年の昭和二十一年の十一月に  
朝鮮から引き上げてまいりま  
した。しばらくは私の実家に  
家族でおりましたが、東京へ  
行くという主人について、息  
子三人とともに実家を出て自  
立することになりました。戦  
後の混乱期、どうなるかとも

思いましたが、紆余曲折を乗  
り越え、主人はたいへんな苦  
勞をして自分の仕事を持って  
くれました。おかげで三人の  
息子たちを、何とか食べさせ、  
教育することもできました。

私も息子たちも、主人のこ  
とは、本当にすばらしい努力  
の人だとしみじみ思っております。  
それに比べて私は、何  
の能力もなく平凡で、ここま  
でやってこれたのは、ただた  
だ主人のおかげ、と、仏壇に  
お供えをして、感謝する毎日  
です。

心の富める者に  
なりたい

石川県  
大平れい子

日蓮上人さまは、「私は日本一貧しき者なれど、仏法をもつて論ずれば、第一の富める者なり」とおっしゃいました。日蓮さまは、清貧に甘んずる生活をしながらも、心の中はいつも豊かで、靈山浄土の釈尊とともに生活をしておられるような、法悦に満ちあふれたお気持ちで過ごされたのです。

ありあまるほどの物の中で、ぜいたくに暮らしながら、

心の中は貧しく、殺伐とした現代に住んでいる私は、日蓮さまの生き方を見て、大いに反省いたしました。まだ二十歳なので未熟ではありますが、日蓮さまのような心の富めるような人になれるよう努力していきたいと思います。心の富める者とは、信仰の中から生まれてくるのですね。

カラーグラビアの  
すばらしさに感銘

神奈川県  
落合 一恵

このたびのスリランカご訪問といい、黒田老師さまのたゆまぬご着想とその行動力に

はただただ感服させていただいております。私などの思考発想をはるかに超越した、まさに雲上人のごとき存在にさえ感じられ、このようにお手紙を差し上げることも恐縮に存じます。今回の『成寿』も、いつもながらの内容の充実に加えて、カラーグラビアのすばらしさに感銘いたしました。この上は、ご老師さまの高邁なご誓願、「宗祖を通して釈尊に還れ」の精神がますます円えんじょう成されますようにお祈り申し上げます。

スリランカの様子が  
よくわかりました

神奈川県  
安藤 嘉則

今回の『成寿』では、黒田  
老師の「明日を生きる」、また  
「スリランカ特集」にとても  
心魅かれました。「明日を生き  
る」には、たいへん感動を覚  
え、今日の善光寺における教  
化活動・海外留学僧派遣育英  
会の原点を、老師の若き日の  
行脚の日々に見たような思い  
です。「スリランカ特集」では、  
巻頭グラビアは貴重な写真で  
あり、同時に現在のスリラン  
カ仏教の様子を詳しく知るこ

とができました。私の尊敬し  
ているウパティッサ師が幾度  
か写真に登場されており、師  
が情熱を傾けているスリラン  
カの幼稚園の様子も知ること  
ができ、本当に嬉しく思いま  
した。

回をおうごとに  
充実するご本

福島県  
遠藤 由美子

光陰矢の如しの言葉のよう  
に、御母堂さまがお亡くなり  
になられてから一年余が過ぎ  
てしまいました。まるで夢の  
ようでございます。どんなに  
かお淋しい毎日であられたこ

とかと謹んでご拝察申しあげ  
ます。ご無沙汰を重ねており  
ますが、早く拝登しご焼香さ  
せていただきたいと、その日  
を待ち望んでおります。

雪に閉じ込められておりま  
すと、無性に横浜の空気がな  
つかしくなります。時折、『成  
寿』を拝読しながら、回をお  
うごとに充実する内容に驚き  
つつ、温かい思いで胸一杯に  
させていただいております。

黒田方丈さま、奥さまがおひ  
まになられることは絶えてな  
いのかもしれませんが、いつ  
か心ゆくまでお話できたらど  
んなに嬉しいかと、お優しい  
お声を思い出します。お目も

じ叶いますことを、心から願  
っております。

大好きな善光寺さまに  
納骨させていただいて

神奈川県  
中尾 憲悦

昭和五十八年三月、私は善  
光寺さまに、亡き家族の遺骨  
をお預りいただきました。離  
れがたい気持ちでいっぱい  
ございましたが、いつまでも  
そばに置いておくわけにもい  
かず、それに納骨は私の念願  
でもありましたから、一番安  
心できる、大好きな善光寺さ  
まに納めさせていただいたの  
です。あの日から十年余り：

方丈さまはじめ皆さまには、  
本当にお世話になりました。  
ありがとうございます。無  
事に今日の日を迎え、本望で  
ございます。

善光寺さまにおうかがいす  
るたびに心が安らぎ、自分の  
実生活のみにくさに恥ずかし  
い思いがいたします。生きて  
いる限り、その現実との戦い  
が続くのでしょうか…。人生  
を前向きに考え、できるかぎ  
り周りの人の幸せを思っ  
て暮らしているつもりな  
のですが、しよせん、私は  
驕りたかい人間なんだと反省  
することがあります。

近い将来、私も横浜を離れ

る日がくるかもしれませ  
んが、どこに行きましても善  
光寺さまのことは一生涯心  
に残ることと 생각합니다。

方丈さまもお体を大切にな  
さって、どうぞますます皆さ  
まを希望と安らぎへお導き  
くださいませ。奥さま、お寺の  
皆様によりしくお伝えくださ  
いませ。ありがとうございます  
でした。







多くのお便りありがとうございます。  
ございます。



★『成寿』は、かたちも中身もたいへん立派なもので、一寺院でよくぞここまでと感服いたしました。

東京都 井上 文夫

★佛心理解にはほど遠い者で

すが、毎回、文章、写真、絵それぞれに心ひかれ、しばし時間のたつのを忘れます。ありがたいとは、このような時間に逢えることと勝手に解釈しながら、拝読させていただいております。

神奈川県 広島 一雄

★いつも頭の下がる思いで記事を拝読させていただいております。このたびはスリランカ特集としてたくさんの写真が載っており、かねてスリランカの仏跡を参拝した頃のことを思い出し、なつかしく思いました。

東京都 芦辺 鎌禅

★美しいスリランカの写真の数々、堪能させていただきました。

東京都 飯田 利行

★生長の家の機関誌「光の泉」で、黒田武志住職の「じんせい拝見」の記事を読みました。世界平和というグローバルな願いをこめてのご活躍に、あらためて敬意を表します。

栃木県 大嶋 正

★おかげさまで私も元気でおります。親が元気でいることが、子どもへの思いやりと都合よく考えてがんばっています。

神奈川県 石川多加子

★私は、スリランカの聖地を頭において書かれたであろうと思われる「バクテイ シャタカ」なる讃歌を訳したことがあります。ですから、各写真に興味深く拝見させていただきました。

東京都 真野 龍海

★余暇をみて心静かに拝読させていただいています。黒田ご住職さまの御心の豊かさ、寛大さ、そしておやさしさが私の心の奥深くにしみ入り、ただただ、感慨無量でございます。

神奈川県 栗林 豊

★『成寿』を拝読させていただき、かつて知るすべもない世界を、今はふるさとを思うような気持ちで受け止めることができると感じました。これからもどうぞお導きください。ありがとうございます。

岡山県 島屋原百合子

★郵便物の中に、本山から配送された『眺竜』四月号が入っており、読んで参りますうちに御老師が本山からの派遣僧として、タイ国ワット・パクナムへの記事云々があります。

した。

この御寺は、私にも御縁があり、去る昭和五十八年二月梅田禅師様のタイ国公式訪問の折、私も御随行を許され、参拝して参りました。早速その時のアルバムと日誌を取り出し、当時を思い浮べた次第です。

アルバムからは、お寺の所々に沢山の日の丸の旗が立てられ、禅師様大歓迎の横断幕も掲げられ、僧達の盛大な御出迎えをいただき、又日本からの留学僧もおられ、案内と通訳に当っておられました。そしてアルバムの写真説明には総持寺とゆかりの寺ワ

ット・パクナムと記してあり  
ました。

又、日誌では、法要で大悲  
心を皆と諷誦すと書いてお  
り、当手を振り返り懐しく思  
った次第です。

大曲市 鈴木光太郎

★急に大玄さんにお会いでき  
る機会を得ました。

大玄さんとは十年前のアメ  
リカのミネソタ以来の仲でござ  
います。大玄さんが佛門に  
入られることとなり、しかも  
曹洞宗に関心を持ち、偶々ご  
老師より得度をしていただき  
ましたが、何とご老師のご親  
戚が私どもの近くの常在院様

とは、ご縁の不思議なことに  
只々驚くばかりでございます。

今回おみやげに、貴寺の機  
関誌「成寿」をいただきましたし  
て有難うございます。興味深  
く読ませていただいております。  
ご老師の、今は亡きご母  
堂様に寄せられる追慕の念  
を、私も同じ気持ちで拝読致  
しました、ご母堂様のご冥福  
をお祈り申し上げます。

また真摯な佛教者として生  
きようとする熱意のある若者  
に慈愛あふるる手をさしのべ  
られ、報恩事業として海外留  
学僧派遣育英会を運営されて  
おられることに深く感銘を受  
けております。この事業の

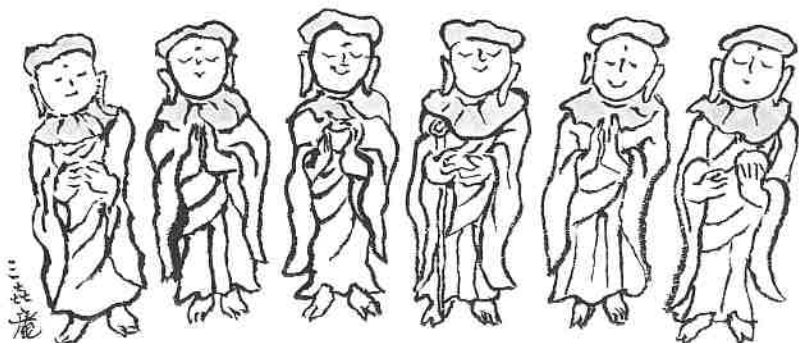
益々の発展を祈念申し上げる  
ばかりでございます。

福井県 田中 孝学

★いつも楽しく、また、気持  
ちが引き締まる思いで拝読し  
ています。黒田方丈さまをは  
じめ周りの方々が活き活き  
と、そして清らかに生活して  
おられる様子が伝わってまい  
ります。

埼玉県 今泉 源由





いつも温かいおたよりありがとうございます。成寿では、読者のページをいっそう心ふれ合う豊かなものにしていきたいと考えております。そこでみなさまからさまざまなテーマのおたよりを募集し、掲載させていただこうと考えています。

●テーマ例

「私の新発見」「お料理アイデア」  
ア

「うちの素敵な家族紹介」

「うちの近所のユニークなお坊さま」

「私の作った詩、俳句、短歌」

「投稿写真」「成寿のご感想ご意見」など何でもけっこうです。

おたよりお待ちしております。

〒233横浜市港南区日野町一六〇四

成寿山善光寺

「成寿」編集部